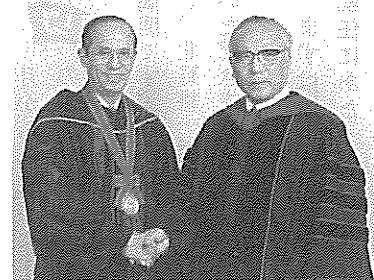


CBC NEWS



弓山喜代馬師、佐布正義師につぐ中央聖書学校第三代校長として、今年度より北野耕一師がその重責を担うこととなった。先般の卒業式の後、校長交代式が行われた。

新校長就任

CBC NEWS

No.10

中央聖書学校は今年度から、学生寮・図書館の改築工事がスタートし、二十一世紀に向けた新たな転換が図られている。北野耕一校長は、新聞部とのインタビューの中で(詳細は二・三面に記載)、間もなく創立五十周年を迎えようとしている中央聖書学校の良き伝統を踏襲しつつ、さらなる発展を目指していきたいと語った。

「率先垂範」(そつせんすいはん)と「合心建徳」(がっしんけんとく)の二つの言葉をモットーとして掲げ、教師と学生が一体となって、価値観・倫理観の多様化している現代における健全な聖書学校の在りようを求めていく。将来的な教師の世代交代も視野に入れながら、当面カリキュラムの改革、海外宣教に一層目を向けるプログラムを増やす等しつつ、将来の伝道の現場で通用する、実践的・霊的訓練の充実を図っていきたいと考えている。

海外での豊富な経験を持ち、また現在日本全国の教会で、伝道集会に招かれている同師は、

北野耕一 新校長プロフィール
一九五五年 神戸大学で学んだ後、中央聖書学校卒業。その後、広島教会及び唐津教会で牧会。一九八三年 米国ハワイ教会牧職としてラジオ牧師、ハワイタイムズ新聞記者として奉仕。一九八八年 ハワイ大学卒業。一九七〇年 ハワイ大学大学院修士課程卒業。一九七一年 フリビンで、アジア太平洋神学大学院教授。マニラ日本人教会牧師。一九八一年 セントロ・エスコラ大学大学院博士課程卒業。一九八五年 シンガポール聖書学校校長。一九九一年 中央聖書学校教授

静心

菊の花。種類も多く、秋ごろに花が咲き、昔から觀賞用にされるところにも、また長生きの薬として信じられてきたので知っている人も多いでしょう。では、この菊の花をおひたしにするとおいしいというのを知っているでしょうか。けっこうおつなものです。

長いあいだ、開けていなかった冷凍庫。ある時、思い出したようにその中を見たら、まあ、菊の花！五年も経っていたそうです。もうだめかなあと思つたけど、そのおばあちゃん、菊は丈夫と聞くので、ゆでて食べてみたそうです。すると、なんと菊の香りがよく、おいしくいただきました。

私たちの信仰も眠つたかのような死んだかのような時もあります。でも、主が触れてくださるなら、私たちも生き返ることが出来る。いつか、その状態から目覚めて、なんとも言えないおいしい味を出す、そのような時が来る。

パールの預言者たちと戦つた後のエリヤ、ペテロをはじめとする、十字架後のお弟子たち、そして、今を生きている私たち。触れられる方法は違ふが、それは、主の恵み。主が愛しておられる、あの人のために、この人のために、あきらめないで、執り成して祈っていく。その思いと祈り。これがリバイバルの原点であるように思う。

CBC NETWORK

中央聖書学校の冬期研究科が一月十二日から二十四日まで、米国アッセンブリー教団の若手神学者であるロバート・メンジース博士を迎えて行われた。メンジース博士はペンテコステ神学の講義を担当され、佐布正義師が現代神学の講義を担当された。

「アッセンブリー史」の授業で一月二十七日、品川ベテル教会牧師婦人白石享子師が特別講義をされた。

中央聖書学校入学試験が二月十日に行われ、男子二名、女子六名の計八名が試験を受けた。

三月十日に卒業式が行われ、十一名(一名は他教団)が全国各地に派遣された。任地先は、秋川由香利師(尾崎キリスト教会)、古閑清師(宇部神召キリスト教会)、城之木勝師(小倉シオン伝道所)、高峯雅恵師(海老津伝道所)、芦田いずみ師(鳴尾純福音教会)、沖野美智代師(小樽神召キリスト教会)、小泉多恵子師(樺原キリスト教会)、船津信成・美穂子師(金沢キリスト教会)、渡辺敦子師

(熊谷キリスト教会)となっている。

CBCの三年生の学生十名が、上原和雄師、石原嘉宣師と共に三月十三日から二十三日までの十日間、北陸地方でのキャラバン伝道を行った。

学生寮の建設に着手するに当たり、四月一日から三日にかけて図書室の引越作業が行われた。

四月七日に宣百ホールにおいて入学式が行われ、十一名の新入生(男子二名、女子九名)が加えられた。また、新学期に伴い、臨時講師(細井真師、佐藤昭雄師、ビル・パリス師、カレン・ウェルチ師)の紹介がなされた。ジョイス・北野悦子師は一年間宣教報告のため帰国され、三十余年音楽を担当された大森園子師はその任務を辞された。

四月八、九日に聖別式が行なわれ、八日は伊藤顕榮師、九日はダビデ・ハイムス師が御言葉を取り次いだ。特に九日の礼拝で、豊かな聖霊の臨在があり、一同は献身の思いを新たにされた。

後援会のご案内

中央聖書学校が教団の伝道者養成機関として発足以来、すでに四十六年を数えておりますが、その間多くの方々のご協力と献げ物と奉仕によって幾多の伝道者、働き人がこの学舎から輩出されたことは感謝であります。

さらに学校の設備に充実とゆとりのある運営がなされるためには、多くの方々のご賛同を必要としております。どうぞこの点をご理解いただき、是非本会にご入会くださるよう心よりお願い申し上げます。

中央聖書学校後援会

会長 山田 亘

後援会入会要領

個人会員 一口年五千元
法人会員 一口年一万円

☆連絡は中央聖書学校内後援会宛にお願いいたします。

編集

後記

両足にできた霜焼けが完治して、春の訪れに心をわくわくさせているうちに、卒業式、寮内・図書室の引越、そして入学式・聖別式と、あつという間に新しい生活が始まった。

春が来ればなんだか新しい生活が始まったように感じるものだが、今年はまだそれだけのようには思えない。CBCに新しい風が吹いているように思う。

学校の外側が新しくされると共に、私たちの内側をもさらに新しくされることを願う。そして「リバイバルはCBCから」と折りつづけた。

(C・T)

編集スタッフ 新聞部部員

別宮 健一 田中 千香子

三宅 規之 菅原 洋子

編集責任者 ダビデ・ハイムス

事務局 中央聖書学校

豊島区駒込三二一五二〇

FAXTEL 〇三三九一八四九二五
〇三三九一八四〇六四

シリーズ 献身 Vol.10



私の献身

久保田 潔

小さい時から動物の好きだった私は、大人になったら動物に携わる仕事につくのが夢でした。小学生の時は動物園の園長、中学生の時は動物学者、高校生の頃は犬の調教師になろうと考えていました。それは多分、人と接するのが苦手な、口の重い性格も起因していたかも知れません。

高校三年の時にクリスチャンになり、大学に入学して、いよいよ目標実現と思って、地元に住む有名な調教師を訪ねて弟子入りを願いましたが、年齢的にももう遅いと断られてしまいました。

挫折の中の一年後、ある早天祈禱に出席した時、牧師から「網を捨てて我に従え」との御声が与えられたと言われました。純真だった私は指導されるままに、大学を中退し、教会の近くに下宿して献身に備える事にしたのです。

四

月から始まった学校の新体制を祝うかのようには外は桜の花が満開です。窓の外の花を背にし、北野耕一新校長に語っていただきました。

まずは中央聖書学校校長就任にあたっての率直な心境を。

全くの予想外のことだったし、こういう仕事には就きたくなかったというのが率直な気持ちです。というのは二十世紀を迎えようとするこの中央聖書学校は、今大きな転換期にあります。日本の教職者ではないという私の立場や、日本での経験、学歴の内容、私は神学専攻でないことをあわせると、不的確な条件がそろい過ぎていると思います。そればかりでなく、世代交代という教団の流れにも反するのではないかとさえ思いました。だからこれは神様から出ているとは思えません。

海外の神学教育と比べて、この中央聖書学校の一歩の違いは、どのような点ですか？

やはり創立以来、弓山先生がお一人で校長職を四十年以上やってこられたという伝統の重さというものだと思います。もうすぐ五十期生を送り出そうとしています。校長は佐布先生について私でたつた三代目です。このような伝統は他の学校にはありません。

徳建心合

を語る

そういう築きあげられた伝統ということが大切だと思います。

中央聖書学校の良い特色と思われる点もそのようなところですか？

まさしくそのとおり。この特色というものを、私の勝手な理念で崩さないようにしたい。と、同時に今この日本は二十一世紀を目前として大きな転換期にあるわけでしょう？経済ではビッグバンドとか、政治改革、学校改革、あるいは大学改革等、大変革の時代です。私が日本に帰国してきてから八年目になるけれど、学生の質・価値観も変わってきています。簡単な例をあげると、学生の間にこんなコンピュターが普及するなどは考えてもみなかったですね。このようなテクノロジーカルな問題だけではなく、中学生が自分の教師を刺してしまふような、倫理観・価値観といったものが、根本的に

主よ！

中央聖書学校

四年 藤本 幸雄

主の恵みと栄光をほめたええます。

毎週金曜日、神学生は駒込近辺で路傍伝道をし、その後学生伝道集会をしている。



二月二十三日、この日は新年度のスタッフで行う最初の路傍伝道の日。前日の早天祈禱を有志及びスタッフで守り、いよいよ当日となった。しかし残念なことにその日は雨であった。全体での路傍伝道は中止であったが、スタッフ及び何人かは雨の中、自

崩れかかった国になってしまっています。このような反キリストと言うか、反聖書的な日本の倫理的流れから隔絶されていない神学生を、これから養育していかなくてはならないわけですね。私の頭の切り替えをどこまで若い世代に、神学生の考え方に歩み寄っていきけるか。これは大問題だと思います。

先生が目指そうとしていらっしゃる中央聖書学校の姿を簡潔な言葉で表すと、どのようなものになるでしょうか？

「率先垂範」(そつせんすいはん)と「合心建徳」(がっしんけんとく)です。最初のほうは分かると思いますが、キリストに似せられた者として率先して模範になつていくということ。そして後のほうは、ピリピ二章にある「心を合わせる」ということと、さらに第一コリント十四章にある「互いに徳を高めあう」

主的にトラクトを配りに行つた。

そんな中で特別の新祈会をし、集会が始まった。天候のためいつもより少ない人数。神学生はそれでも「今日準備された人が必ずいる」と心から信じていた。集会開始直前、「来た」。新来会者が一人受付に來られた。私のところに案内される。先週、トラクトを配ってもらい、それを見て來られたらしい。詩かれた種は必ず刈り取ることが出来る。と知る。そればかりか彼は以前統一協会に通っていた人でもあった。統一協会からの脱会経験のある私のもとに彼は案内されたのだ。神のご計画を感じざるを得なかった。皆の祈りがこういう形で応えられたと知る。この魂を確実に救いへと導きたいと強く思われた。

この学生伝道集会に多くの魂が送られている。その一人の魂を、キリストのもとへと確実につなげていく使命を私たちは負っていると感じさせられている。

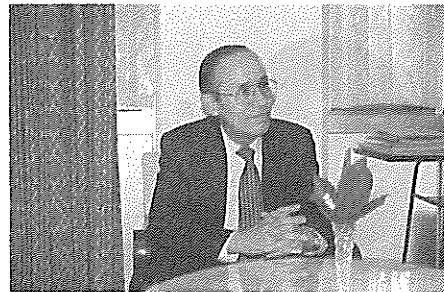
特集 新校長インタビュー

読者の皆さんに、何かアピールしたいことはありますか？

もちろんお祈りをしていただきたいということなのですが、まず学生寮と図書館の改築という大事業があるということが具体的な課題の一つです。そのために一億円の募金と、二億円の銀行借入の返済をしていかなければなりません。我々自身も、又学校全体も人まかせではなく、この重荷を負っていきたくと考えています。これは学生にも訴えたいことなのですが、私たちの学校は全国の皆様方の、尊い献げもので経営が成り立っているということを、決して忘れてはならないと思います。

そして次に円滑な世代交代というものも考えています。現在教職者の六割以上が六十歳以上です。今後この学校で教えて下さるという先生を、今のうちにどうやって育てるか。我々にとって非常に大きな重荷であり、課題ですね。

もう一つの課題は二十一世紀の世俗的な世相に対応できるような霊的・実践的な訓練の充実をどうやっていくかです。カリキュラムの改革に



関しては、今年度から少しずつ始まっていて、まず今までの基礎と専門という枠組みをはずし、必修科目と選択科目だけに分けました。またこれから年二回は海外宣教大会として、海外宣教に目を向けてもらえるようなプログラムを考えていきたいと思っています。今年度は、六月と十二月に、外部から講師の先生をお招きすることになっています。

これは誰もが言うことなのですが、世界のアッセンブリーが何故これだけ伸びたかという、宣教というものに力をいれてきたからなんです。学生のうちに、なるべくそのスピリットに触れて欲しいですね。

先生は現在全国の様々な教会で、伝道メッセージを語られています。日本人に福音を語ることにに関して、どのようなことが鍵だと思われるか？

祈りだと思っています。祈り込んでいる教会にいくとメッセージがよく通る。ところが祈っていない教会に招かれると通らない。言い換えると、よく祈られていると、新しい人がきても反応があるのです。これしかないと思います。祈りがあるということは救霊の情熱があるということでしょう？シンガポールに行きますと、信徒たちが実に一生懸命伝道しています。それは教会を大きくしたいとか、そんなことは考えていない。ただ「救われて欲しい。救われて欲しい」それだけです。神に対する飢え乾きと魂への飢え渇きが祈りとなって、教会に救いの業が起されるということを感じます。当たり前のことなのですが、祈りが鍵となるでしょう。そして御言葉で養われている教会の祈りは更に効力があります。今あちこちでおこっているリバイバルもそれだと思います。祈りです。

★★★教職インタビュー★★★

ジョイス・北野悦子師 Vol. 2

今回は土曜日の「オーラル・イングリッシュ」を担当されていたジョイス・北野悦子先生をご紹介します。ジョイス先生は大学4年生の時に召命を受けられ、大学院で「ティーチ・イングリッシュ」を学ばれました。その後宣教師のための学びを受け、シンガポールの神学校で教鞭を取るなどして、93年にオフィシャル・ミSSIONナリーとして来日されました。今年の4月からは、宣教報告のために一年間の予定でアメリカに帰られ、「オーラル・イングリッシュ」の授業はビル・パリス先生が担当されています。

新聞部 : 「オーラル・イングリッシュ」の授業はとても楽しいと聞いていますが……。

ジョイス先生 : 私自身、この時間をとても楽しみにしています。学生たちはとても熱心で、教えやすいです。学生たちの証しに励まされることがたくさんあって、交わりを通して私の信仰も強められます。

新聞部 : 東大で学生伝道をされているそうですが、いつ頃からですか。

ジョイス先生 : 3年前から2つの英会話クラスを始めました。聖書研究会をしたかったけれど、学校側が宗教関係はだめということで部屋が借りられませんでした。でも、去年救われた一人の50代の女性を通してクリスチャンの教授が見つかり、「ロゴス英語聖書研究会」というサークルを作ることができました。つい1カ月くらい前のことですが、このサークルに導かれた法学部3年生の学生が救われました。彼は大学構内の食堂で、イエス様を受け入れる祈りをしました。本当に感謝です。

最近、学生たちの心の状態は本当に変わってきていると思います。彼らの心は渇いていて真理を求めています。以前は数年かかったけど、今は数カ月ぐらいで魂が救われる。本当にリバイバルは近いと感じます。

新聞部 : すばらしいですね。でも、アメリカに帰るのはとても寂しいのでは……。

ジョイス先生 : そう、日本を離れたくないです。今年、来年と、神様は必ずすばらしい働きを下されると信じています。ぜひ、聖書研究会のために祈って下さい。

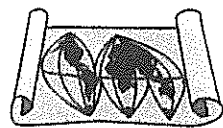
新聞部 : アメリカでのビジョンはどんなことですか。

ジョイス先生 : 主に宣教報告を通して、日本の教会の状況をアメリカのクリスチャンたちに伝えることです。彼らがもっと日本のための良き祈り手となることを願っています。

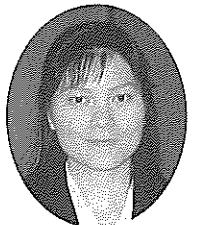
新聞部 : 最後に、CBCの学生たちに何かメッセージを。

ジョイス先生 : CBCは神様の働き人となる皆さんにとって、すばらしい訓練の場だと思います。3年間、4年間は長いと思うかもしれないけど、本当にあつと言う間。だから、この数年間に吸収できるものはすべて吸収して、時間を無駄にしないこと。毎日新たな思いで、すべてのことから積極的につかみ取る。チャペルを通して、さまざまな訓練を通して、人を通して、また神様から直接に。今は、これからの働きのために大切な土台を作る時ですから。私は一年間アメリカにいますが、やはり私の心はこの駒込にあります。皆さんのために祈っています。





福音をたずさえて...さあ、宣教の地へ!



安座間 陽子

四年間の神学校生活を終え、自分自身の足りなさ、弱さを感じます。

しかし、ゼカリヤ四章六節のみにとばにありますが、主により頼みつつ仕えていきたいと思っています。又、イエス・キリストが一人の魂を大切にされたように、私も一人の魂を大切に、一人でも多くの人々に福音を宣べ伝えていきたいと思っています。

秋川 由香利



伝道教会のために遣わされるにあたって、主に願ひ求めていく事柄を取り上げ、抱負したいと思います。

と思います。一列王記三章九節で、ソロモンが願ひ求めた如くに私も主からの知恵を求めています。また人々の救いに対する情熱と、主の御旨が成ることを切に求める飢え渇きです。

これらは、これからの務めに欠くことのできない事柄であると思うのです。

古閑 清



四年間の学びを終えて、いよいよ伝道の場へ出かけていく事となりました。伝道のビジョンとして、①教会学校の充実、②家庭集会の充実、③自分の学びと祈り、の三本柱を中心に伝道、牧会をしていきたいと思っています。福音を一人でも多くの人に聞かせる事ができ、聖霊様の導きにより、多くの魂が救われる事を信じます。働きの祝福の為、お祈り下さい。



城之木 勝

四年間の学びを終えて、三月十五日付けで、私は北九州の小倉シオン伝道所の伝道者として就任しました。四年前も今も罪人であることには変わりはありません。ただ主の深い憐れみと愛によって今があることを常に覚え、これからの働きにおいても常に主の愛に習っていききたいと思っています。働きの為にお祈り頂ければ幸いです。

高峯 雅恵



学生のことをおぼえ、祈り、ささげて下さっている方々から感謝いたします。

イエス・キリストが人々を愛し伝えられたように、私も一人一人を大切に愛し仕えていきたいと思っています。イエス・キリスト以外に救いはありません。この福音を、単純にわかりやすく宣べ伝えていきたいと思っています。

芦田 いずみ



いよいよ卒業し、「畑はあなたを待っている」とのことばに身を正す思いです。魂を救いに導き、牧していく務めは私の思っている以上に困難があるでしょうが、それ以上の喜びのある務めだと思っています。そのような務めに任じて下さった主に忠実に仕えていこうと思います。主がこの者に知恵を加え収穫のために用いて下さるように祈ります。



沖野 美智代

一匹の羊。イエス様がしたように愛を注いで育てる一匹の羊。十匹の群、三十匹の群、五十匹の群。

何匹飼えるのか? 失われた羊、何匹探せるのか? 一匹? それとも三匹? イエス様のことばには数はなかった。方法もほとんどなかった。「あなたを遣わす。伝えなさい。教えなさい、飼いなさい。共にいるから。」分かりました主よ。それで十分です。

船津 美穂子



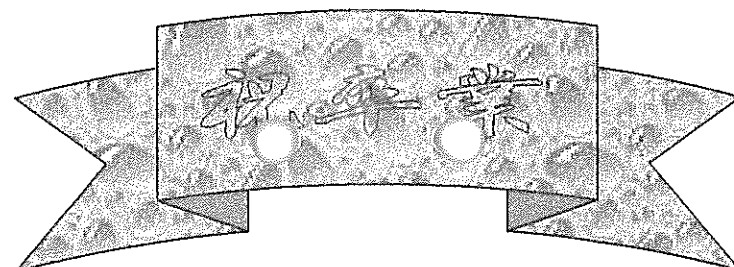
「みことばを宣べ伝えなさい。神がすでに与えて下さった救いの恵みを、子どもにも大人にもどんな人にも語らなければならぬ」と今強くこの言葉が迫っているように感じています。

この三年間私たちの為に祈り、献げて支えて下さった方々に心から感謝いたします。そして何よりも、私たちを召し、導いて下さった主に感謝を捧げます。

渡辺 敦子



「誇る者は主を誇れ。」私を召して下さり、今日まで導き続けて下さったイエス様の御名を讃えます。私のような「無きに等しい者」を選んで下さったイエス様のすばらしさを神学校で更に知りました。私を通して働かれるキリストだけをこれからも見上げつつ、福音宣教の為に私の全てを捧げてイエス・キリストに従ひ続けたいと心から思っています。



小泉 多恵子



全国の諸先生方はじめ兄弟のお祈りと、尊いお献げものに支えられ、三年間の学びを終了することのできた恵みを心より感謝いたします。神様が私たちに与えて下さった福音の真理を伝えるべく、主が「私を」遣わして下さるという事は恐れ多い事ながら何と幸いなことであるかと、喜びをかみしめています。すべての栄光を主に帰しつつ。